

熊 事 研 会 報

第78号

平成16年3月15日

発行人 熊本県学校事務研究協議会
会長 魚住 光二

編集代表 研究部長 大岩眞二
〒868-0081人吉市上林町622
TEL096(369)2004 Fax096(331)1530

<今回の主な内容>

- ・会長挨拶
- ・第4回理事会だより
- ・共同実施
- ・全事研情報
- ・地区紹介
- ・訃報
- ・研究部会だより
- ・編集後記

来年度は新たな飛躍の年に！

熊本県学校事務研究協議会長
魚住 光二

昨年4月以来、慣れない会長職に悪戦苦闘の毎日を送ってきましたが、どうやら会員の皆様を始め理事の方々並びに研究部員・事務局員の皆様のおかげで無事に一年間を終えることができますことをまずもってお礼申し上げます。

この一年を振り返ってみますと三位一体の改革の中に組み込まれてしまった「義務教育費国庫負担制度の新たな動向」を始め、皆様の関心が高い「標準職務表の通知問題」や「全事研への加入問題」など、多くの課題ばかりが残されたように思います。

また、学校現場でも地方財政の削減や市町村合併など私たちを取り巻く環境は大きく変化してきましたし、今後も「コミュニティ・スクール」の導入や「個人情報保護法」の施行、「スクールセキュリティ」の対策など、私たち事務職員が参画すべき職務領域は益々広がってくるのが予想されます。

このような難問が山積している状況の中で、過去にとらわれない新しい発想での学校事務研究と実践が求められており、今までは一つの研究課題でしかなかった「事務の共同実施」についても次第に現実味を増してきて、今や「学校という垣根を越えた全く新しい事務処理形態の必要性」を行政の側からさえ提起するほどになってきています。

勿論、私たちの目線はきっちりと子どもたちに向けられたものでなければならず、あらゆる仕事の成果は児童・生徒への教育支援という形で完結しなければ意味がありません。

「軸足を何処に置くか？」は言うまでもないことです。

昨年11月の「第30回記念大会」で始めて実現しました県教育長の講演の持つ意味はまさにそれであり、ややもすると“独りよがり”の面があった私たちに「教育委員会との連携」並びに「教育活動との連携」の必要性を再確認させることができたものと思います。

児童・生徒並びに保護者や地域の方々の学校に対する要求の多様化は、当然のことながら国・県・市町村の教育行政に対するものでもあります。もう一方では私たち自身の変革を要求するものであることを認識しなければなりません。

私たち学校事務職員が学校にとって必要な職員であり続けるのかどうかは、自らが変革して行けるかどうかにかかっていると云えます。

来るべき2005年度には「義教法」や「人事評価」「人事交流」など、直接的に私たちの身分保障に関係する全国規模の大きな問題が迫っていますが、熊事研650名の会員の皆様が日々の地道な実践を通して、また必要なときは会として一致団結して行動することで乗り切りたいと思います。

最後になりましたが、昨年7月以降、宇城地区の高野弘幸さん・福田雪光さん、荒玉地区の谷 幸博さんと3名の会員の方がご逝去されました。

それぞれに50歳前後という働き盛りの年代であったことを考えますと、学校現場の多忙化や次々と変化していく事務処理のストレス等とも決して無関係では無かったのではないかと思います。

ここに、あらためまして3名の仲間のご冥福をお祈り申し上げますとともに、どうか会員の皆様も自らの健康管理に留意されますようお願いする次第です。

この一年間、本当に数多くのご支援ご協力を頂きまして有り難うございました。

来年度は、熊事研にとって新たな飛躍の年になりますよう心から願っております。

第4回理事会だより

H17. 3. 4(金)
於：水前寺共済会館
事務局長 今 坂

第4回理事会を3月4日に開催しました。会議冒頭に荒尾第四中学校 谷 幸博先生、宇土東小学校 福田 雪光先生の突然の訃報に理事会としても心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りして議事にはいりました。

議事内容については以下のとおりです。



I 平成16年度 熊事研活動の総括

本年度の事業の基本方針について、事務局と研究部より総括及び報告がなされました。また、事務局より一般会計の中間報告及び大会会計の決算報告がなされ、それぞれ現時点での確認を行いました。なお第3回理事会(平成16.12.15)で協議し、決定されました、全事研加入の件について下記の内容のとおりで、再確認されました。

全事研加入については、「組織として加入するが、会費については賛同者のみから徴収する」方向で各地区での今後の論議を深めてもらい、最終的には「平成17年度の総会」において採決する。

II 平成17年度第31回県大会について

大会の会場は、今年度同様に鶴屋ホール及び県民交流館パレオを使用することで決定しました。期日については10月後半の日程で鶴屋に申請しましたが、催事が入っていたため2日間通して使える日程は空いておらず、また11月も同様であったためこのような日程になりました。お忙しい時期ではありますが、ご理解と協力をよろしくお願い致します。

今後検討を重ねながら次年度の具体的な計画を立てていく予定です。

大会会場 鶴屋ホール
大会期日 10月19日(水) 20日(木)

III 「学校事務必携」の作成について

今年度は、学校事務必携を有料化して2年目にもかかわらず、600部以上の申し込みをいただき、3月1日に第22号の発行をしました。今後も会員のご希望を取り入れながら、より使いやすいものにしていきたいと思っておりますので、巻末のアンケート等でご意見をお寄せください。

IV その他の協議事項

- (1)事務処理ソフト開発委員会について→設置の可能性についてさぐってみる。
- (2)役員を選出について(確認)
- (3)研究部員の任期及び選出方法について→今後検討する。

V その他の連絡事項等

- (1)有料化前事務必携残金について
H16.12.22付で有料化前事務必携残金の会長名義口座をつくり管理しています。
理事会で協議の上、必要に応じて活用していくことを確認しました。

「共同実施校に聞きました！」(PART2:一の宮中)

前回、熊本市の画図小学校の「共同実施」の紹介を行いました。が、「組織的な学校事務の整備・構築」を図り、「きめ細やかな学習指導の支援」を行うことを具体的な目標として取り組まれていました。2年目であることから具体的な取り組みが行われているように感じました。

それに対し今回の一の宮中学校は1年目です。お忙しい中、原口先生に質問をぶつけてみました。

Q1:共同実施校の指定日とともに共同実施を行っている学校を教えてください。

A1:原則として、毎月第2、第4木曜日に開催しています。

共同実施校は以下のとおりです。

阿蘇市立一の宮中学校、宮地小学校、坂梨小学校、中通小学校、古城小学校です。一の宮中学校に

加配職員が一人います。今のところ、拠点校(中心校)は一の宮中学校、連携校(協力校)はその他の学校ということになります。

Q2:では具体的にうかがっていきます。前回の画図小を含む共同実施校の取り組みは主に「教育活動の支援」で、「学校徴収金の一元化」や「教務事務の支援」などをなされていましたが、一の宮中を含む共同実施校の取り組

みは何をされていますか。

A2:平成15年度から共同実施をしたらどうかということで、研究したり一部試験的に旅費のチェックを行った
り、先進
校を視察にいったりしました。本年度から加配をうけての共同実施が始まったわけですが、本年度は、異
動で2名
新しい人がきましたので、最初から、つまり「共同実施で何をするか」という基本的な事柄を検討したり、
「共同実
施要項」や「共同実施事務センター要項」「共同実施推進協議会要綱」「共同実施の業務内容」等について
の素
案を作成することに終始しました。
特に「共同実施の業務内容」に関しては共同実施でできる業務を洗い出しながら、16項目ほど掲げ、ま
た同時
に事務システムの検討を行い業務範囲や業務内容についてのシステム(事務の流れ)等の検討も行いま
した。
お互いの考えを率直に述べあいながら、一番基本的な事柄についての討議を行ってきましたが各人各
様で共
同実施というものに対する考え方が違っていましたので、とにかく考えを述べるということに終始しました。
まだ議
論の段階で具体的な実践は行っていません。

Q3:平成16年度からの取り組みということで、約1年が経過しようとしています、成果若しくは課題などあり
ました
らおしえて下さい。

A3:先ほども述べましたが、成果というべきものはあまりありません。あるとするならば、真剣に議論を重ねて
きたと
いうことだけでしょうか。ただ、一部のものについては次年度への展望が開けるようなものもありました。
課題は、早急に何をどうすべきかを共通理解し、早急に実践することですが、2月11日に阿蘇市になっ
て又、最
初からしきり直しをしなくてはならないようです。特に「共同実施推進協議会」は早急に立ち上げをしなくて
はなら
ないと思っています。

Q4:いろんな課題があるようですが、共同実施は最終的には子どもたちのためにあると思います。実際、こ
の研究
により学校の雰囲気や子どもたちの様子は何か変わってきたと感じる場面がありますか。

A4:残念ながらまだ、実践がないのでこの質問に具体的にお答えすることはできません。来年度は是非具体
的な実
践を行いたいと考えています。

Q5:では、来年度の展望を！まとめとしてお願いします。

A5:本年度は、共同実施の足がかりを模索した一年だったといえます。先般、阿蘇郡教育研究会学校事務
部会の
実践レポートを、中通小の永野さんが書いていますが、その中に各人の感想が載っています。それをみて
もまだ
まだ温度差があり、来年度展望が開けるのか、具体的な実践に移れるのか、未定の部分がたくさんあり
ます。
また、早急に共同実施の効果を上げなければならない、という逼迫した状況もあります。
しかし、後戻りはできないし前へ進むしかありません。何とかみんなの叡智を实らせたいと思います。

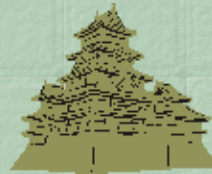


簡単に「共同実施」を行うと言っても軌道に乗せるまでに様々なことを達成させなければならないようです。
「共同実施」をゼロから作っていく苦勞を見ることができました。私を含め、この会報を読まれているほとん
どの方々はまだ実際に経験していないことですが、将来、「共同実施」が本格的に導入される日が来るのなら
ば、何か準備しておくことがあるのではと感じました。原口先生、お忙しい中ありがとうございました。

「第 8回 近畿地区公立小中学校事務研究大会」

日 程：平成17年(2005年)7月27日(水)～29日(金)
会 場：神戸国際展示場2号館 コンベンションホール
大会テーマ：「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」
サブテーマ：今変革のとき ひょうごから学校事務ビジョンの橋を架ける
特集テーマ：学校情報の広報・公開と責任
大会要項 <http://hyogo2005.netfirms.com/youkou/kaisaiyoukou.htm>

熊本市地区紹介



熊本県のほぼ中央に位置する熊本市は、人口67万人強、学校は十数名の小規模校から千人を超える大規模校まで、小学校80校(他に分校1)、中学校37校で、1校を除いて116校に県費事務職員が配置(複数配置22校)されています。市費事務職員は行革の中で態様がまちまちですが、ほぼ全校に配置されています。本採、臨採にかかわらず会員の対象になっているのですが、勤務時間等の関係で市費臨採の方はほとんど会員になっていません。年会費は市千円、地区五百～千円で賄っています。150名近い会員、年齢平均は50歳を超え、一人ひとりがユニークでそれぞれがポリシーを持って職務に精進しています。

市事務研は本体としての市事務研究会と5つの地区研究会から成っています。

市事務研は学校事務担当者の資質向上を目的としており、原則として年3回の「全日研修」(主催は市教委)を充実させることが大きな任務ですが、5月に総会を開いて役員や事業を決め、夏には自主研修として「パソコン研修」も実施しています。

活動の主体は役員会(総数22名)で、月に1回、午後3時位から開催し話し合っています。16年の4月から熊本市の総合情報ネットワークシステムである「Cネット」が市内全小中学校に導入されたのに伴い、この2年ほとんどがそれへの対応についての話し合いでした。特に財務の取扱いが大きく変わる紙決済からパソコン決済へ)ということで、15年度には3つの組合(市職組、学労、市教組)とともにそれぞれの立場から市教委に要望(求)書を出し、16年3月には市教委総務課と話し合っ、「学校財務取扱要綱」を決めることができました。今はそれを基にパソコンとにらめっこしていますが、学校財務上の学校事務職員の立場を明確にする上で大きな意味をもつことであつたと思っています。

年3回の全日研修の内容は役員会で話し合った原案を基にして、市教委と相談して決めています。が、こここのころの時代を反映して、行財政改革、教育改革、財務関係や共同実施などの研修は勿論のこと、仲間の実践報告も交えて多岐にわたっています。盛り沢山で丸一日ということもあり、疲れるときもありますが、概ね好評です。

夏のパソコン研修は、パソコンに精通している仲間を講師にして、それこそ手作りの研修で、旅費や財務の実務研修を実施し、毎年40名位の参加で盛況を博しています。

5つの地区(北部、東北部、東南部、西部、南部)は各々約30名の会員を擁しています。その活動は地区の実情によって若干異なりますが、それぞれの地区での課題をこなしながら、共通する課題(最近主として財務実践)についての研修を進めています。

これら以外に、市教育センター主催の半日研修が夏頃実施されます。これにも4名の事務職員が研究員としてその内容には深く関わっています。

国と地方の途方もない借金が行財政改革や教育改革をゴリ押しし、55年に及ぶ事務職員史上最大の危機が訪れています。この危機感を共有し、一丸となってこのピンチを乗り切っていこうと模索している昨今です。

(文責：軒口)

「亡き我が友、谷幸博先生へ」

1月9日朝 谷幸博先生が亡くなったとの知らせを受けた。昨年6月17日に検査入院をして、余命1年という胆のうガンによる死亡宣告を受け、7箇月と24日目の享年54歳の死であった。最後の見舞いとなった、12月28日に自宅へ見舞った際に、死が近いのを予見するような容体であったのが、もう少しは生きることができたのではと信じていた矢先の知らせでした。

最後は、後3日の余命と通告された次の日に、お母さんに感謝の言葉をかけ、お母さんが眠っている傍らで、眠っているのではというような状態で、静かに亡くなっていったということであった。苦しむこともなく静かな死であったということで、お母さん思いの彼らしい死だったかもしれない。

新採者の事務職員のために、勤務終了後にパソコン講習会を実施したり、若い事務職員が管外へ人事異動する際に、自分も異動をするので、世話ができないため私に世話を依頼してきた、世話好きで、仲間思いの彼でした。彼が勤務していた小学校の前の道を自動車で通過をした時に、子供たちと運動場で楽しそうに遊んでいた姿を見たこともあり、彼の学校の事務室で話をしていた時、成人間近な小学校の卒業生が、会いに来たよといわれる彼でした。子供が好きで、子供に優しく、常に子供のことを考えながら仕事をしてきた彼でした。その反面、子供のため、教師に対し、使命に対する自覚と職務遂行に対する責任を強要する、厳しい面あり、そんな信念を持った事務職員でした。

荒尾市事務研では、彼が中心となり研究会の活動や職務確立のための学校財務取扱要領制定に取り組んだこともありました。研究会や事務職員の職務のことを真剣に考え、誠実に取り組んだ彼でした。

素敵な人間性と職務に対する強い信念を持った、個性豊かな学校事務職員でした。

死を受けとめ、最後まで死に向き合い、若い仲間のこととお母さんのことを思いながら亡くなった、我が同志であり、よき仲間、よき友であった谷先生。涙をこらえ、寂しさをかみしながら、君への思いをひめて、君の冥福を心から祈る。君との忘れることができない色々な思い出をありがとう。安らかにお眠りください。

荒尾第三小学校 坂門 芳文



「谷さんへ」

谷さんが採用された昭和53年度は、鹿本の学校事務の平均年齢が20代半ば。あのころはみんな若かったと言えばそれまで。仕事上のつながりだけでなく、プライベートでも皆でよく遊んでましたね。

山に登るときは、谷さんは、頭から足先までバッチリ決めて、その割にあくまでもマイペースで登って、でも頂上での満足そうな笑顔がすてきでした。一緒に酒を飲むときは、「そげんこつはどがんでんよか。その本質は…」とそれこれどうでもいいことに対しての白熱の論議をし、「やっぱ、焼酎がおいしか」と酒談義にすり替わり、昔話に花を咲かせ、本当にいつも楽しい時間でした。

天草の大道へ転勤されてからも、休日になると良く一緒に行動しましたね。養殖ブイにゴムボートをつなぎ、反対側に糸を垂れ、釣れた魚でまた宴会。

出会った当初の谷さんは一見クールでとりつきにくい感じでしたが、一度仲良くなってみると全く正反対でした。休日には学校の子どもたちを連れて山に行き、学校予算の要求はどうあるべきかを熱く語って実行するなど、その姿勢には大いに教えていただきました。本当にありがとうございました。

ひとつのことに集中すると熱くなる谷さん。パソコンしかり・健康管理もまたしかり。訃報の際も、自分なりに病の克服に最善を尽くされたとお聞きしました。自分らしく人生を全うされたことと思い、今は、心安らかに願うのみです。

ばってん谷さん、天寿とはいえ天国の階段を上るにはまだ早すぎたっじゃなか。そっちに当時の仲間がもう3人もそろってどうするんね。俺は、久住で・熊本城で・俺の部屋で、たわいない話を肴にもう一度飲みたかったです。だけん、まださよならは言わんです。いつの日かそちらに行くけん、その時はよろしく！

植木町立田底小学校 宮本 和明



福田 雪光先生を偲んで

「故 福田 雪光先生を悼む」

悔いてもおそい。嘆いてもあなたは再び私たちの前に姿を見せることはない。そうわかっている、現実にはあなたが亡くなったとは思われない。どうもどうも！といつもあの笑顔で現れるような気がしてなりません。大変温厚で誰とでもやさしく接し、誠実な人柄でした。

2月9日夕方、あまりにも突然の死に、ただ茫然とするばかりでした。さぞ無念であったと思います。私たちにただ若くして逝った雪光先生の霊よ安らかれと、はるかに祈るほかありません。これまで宇城事務研の活動に大いに貢献していただきました。また、副会長としても十分に責務をはたしていただきました。先生の思い出を大切に、これからの事務活動に頑張っていきたいと思います。どうか安らかにお眠り下さい。

謹んで、福田雪光先生のご冥福をお祈りいたします。

宇城小中学校事務職員会会長 宮本 博文

「あなたの笑顔をおぼさない」

どんな時にも、何を言っても、怒ることなくここにこにこ笑って流していましたね。愚痴もこぼさず、人の噂もせず、いつも穏やかなあなたでした。給料日に銀行に行っても、市内事務研の席上にも、あなたのその笑顔がない。まだ、信じられない思いです。

宇土市内事務研の研究部長だけでなく、3年前には県事務研大会の発表まで引き受けていただきましたね。頼まれたら嫌とは言えない、そんな人でした。今年度は、宇城事務研の副会長を務め、来年度は会長職に就く予定でした。私の学校とあなたの学校はわずか2kmと離れていない。一番近くにいたはずなのに、何もできなかった…。私だけでなく、宇土市内の事務職員全員が本当に悔やんでも悔やみきれない思いでいっぱいです。

今は、ただ、どうかゆっくりと、心安らかにお休みください・・・そう祈るばかりです。

宇土市学校事務職員会会長 奥村 真由美

「福田先生やすらかに」

こんなに悲しいことがあっていいのでしょうか。突然の訃報に身が凍りつきました。とても信じがたく「どうして。」「どうして。」と何度も何度も問い返しました。しかし、何度問い返しても答えが返ってきません。いつもにこにこなさっていて順風満帆で幸せに満ちておられるように見えたのに、信じられない気持ちでいっぱいです。一緒にレクレーションをしたり、研究発表を2人でしたり、何かと話したり、お会いすることが多かった福田さんの死に直面し、辛く悲しい気持ちでいっぱいです。私が1昨年まで宇土市に勤務していた頃、何かとよく連絡を取っていたのですが、転勤し地区が変わり、係を引いてからは、新しい財務システムや町村合併事務等々自分のことで精一杯で、たまに会議でお会いしお話をするくらいでした。何のお力にもなれず申し訳ない気持ちでいっぱいです。福田さんは、心優しい方でいつも自分のことより人のことを考えられる方でした。何のお役にも立てず申し訳なく、悲しい気持ちでいっぱいです。

今となっては、ただ、ただ、ご冥福をお祈りするばかりです。

宇土市立小野部田小学校 本田 千鶴子

「福田雪光さんの御逝去を悼んで」

雪光さん。なんでや？2月9日夜、突然の訃報を聞いて一瞬言葉を失ってしまった。福田雪光さん、御本人が亡くなられた知らせは、あまりにも突然で信じられなかった。宇城事務職員会は、昨年引き続いて再度大きな仲間を失ってしまったのである。

雪光さんとの出会いは16年前の水芦事務職員会である。同年齢であったこともあり、阿蘇ひのくに会館宿泊研修先で夜遅くまで焼酎を酌み交わしたことが思い出される。それから彼は八代管内を経て宇城に来られ、先に宇城へ異動していた私と宇城事務職員会で再会し現在に至っていた。そして昨年暮れの宇城支部学習会終了後、おでんをつまみにして焼酎を飲んでいた雪光さんが私にとっては最後の姿になってしまった。今思えば近くの炉端屋にでも繰り出して、もっと話をすれば良かったと悔やまれる。

今となっては遅いのだが相談相手になれなかった自分、気づかなかった自分が腹立たしい。近年、教育問題が山積みする中、多忙化の一途をたどっている教育現場では、教員のみならず学校に勤務する全職員が少なからず余裕をなくし、仕事に追われる毎日を送っているのではなかろうか。今以上の働きやすい職場環境の整備や職員集団の仲間作りが必要であるように思う。

最後になりましたが、残された奥様と愛娘様及び御家族様に心より哀悼の意を捧げます。
雪光さん、安らかにお眠りください。

下益城郡城南中学校 田中 豪

学校事務必携について

平成17年度版はお手元に届きましたでしょうか？今年度同様B5版で作成しています。

会員から「A4化にはならないのでしょうか？」との声が聞こえてきましたので、一部の地区からですが必携サイズについてアンケートをとってみました。結果は以下のとおりです。

B5が良い

- ・大きさが手頃
- ・コンパクトで持ち運びが便利
- ・同型である方が保存しやすい など

A4が良い

- ・A4版が主流だから
- ・プリント類(A4版)をそのまま貼付 できる
- ・メモ量を増大させる事ができる
- ・字が大きい方が見やすい など

A4サイズへの変更を7割の方が要望されているようです。ただ、これは一部の地域に限った事です。他の地区では変わってくるかもしれませんので、一概にはどちらとはいえないようです。

事務必携の最後のページにアンケートFAX用紙がはさんでありますので会員の皆さんからのご意見等お寄せください。



編集後記

春の光がうらかな季節となりました。皆様のご協力により今年度最後の会報を発行する事ができまし

た。会報原稿依頼を快く引き受けて下さった方々、ありがとうございました。

はじめて研究部の仕事をしてみて思ったこと。自分の地区だけではなく県全体の動きや他県の動きが見えて視野が広がったように感じました。皆さん、老若男女問わず是非立候補をして熊事研の役員になりませんか？色んな年齢構成の人たちが集まることでより活性化すると思います。益々多忙化している近年ですが、他地区の方たちと同目標に向かって仕事ができる楽しさを味わえますよ。

[会報トップページへ](#)